

発電設備等系統アクセス業務に係る情報の取りまとめ
(2022年度の受付・回答分)

2023年6月



電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of
Transmission Operators, JAPAN

- はじめに -

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）は、業務規程第181条の規定に基づき、系統アクセス業務に関する前年度までの実績について公表している。

今回、2022年度（2022年4月～2023年3月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

本資料は2022年度の受付及び回答状況の取りまとめであることから、引用する業務規程及び送配電等業務指針（以下、規定等という。）の条文は、同年度末日時点で適用される規定等を用いる記載としている。また、本資料が用いる電気事業者の類型は、同年度末日時点で施行されている電気事業法（昭和三十九年七月十一日法律第七十号）に規定される定義を用いる記載としている。

なお、本資料の取りまとめについては、前年度公表資料（2021年度受付及び回答状況の取りまとめ）から以下のとおり記載内容を変更している。

- ① 2022年4月1日の接続検討申込書の様式変更に伴い、近年の申込み状況を鑑みて、電源種別に揚水と蓄電池を追加。

- 目次 -

1. 対象電源	3
2. 集計結果	4
2.1 事前相談	4
2.1.1 受付件数	4
2.2 接続検討	5
2.2.1 受付件数	5
2.2.2 電源種別毎の受付件数	6
2.2.3 回答件数	7
2.2.4 検討期間	8
2.2.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	10
2.3 契約申込み	11
2.3.1 受付件数	11
2.3.2 電源種別毎の受付件数	12
2.3.3 回答件数	13
2.3.4 検討期間	14
2.3.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	16
<参考 1>年度推移	17
(1) 事前相談	17
(2) 接続検討	18
(3) 契約申込み	19
<参考 2>電源接続案件一括検討プロセス実施状況	20

1. 対象電源

2015年4月1日以降に広域機関及び一般送配電事業者において系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力500キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。なお、発電容量の増加を伴わない改修等も含む。

また、本資料において、各事業者名称は下記の略称で記載する。

事業者名称	本資料における略称
北海道電力ネットワーク株式会社	北海道NW
東北電力ネットワーク株式会社	東北NW
東京電力パワーグリッド株式会社	東京PG
中部電力パワーグリッド株式会社	中部PG
北陸電力送配電株式会社	北陸送配
関西電力送配電株式会社	関西送配
中国電力ネットワーク株式会社	中国NW
四国電力送配電株式会社	四国送配
九州電力送配電株式会社	九州送配
沖縄電力株式会社	沖縄電力

2. 集計結果

2.1. 事前相談

2.1.1. 受付件数

2022年度（2022年4月～2023年3月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおり。事前相談の受付件数は、前年度と比較して大半のエリアで増加。特に東京PGと中部PGが大幅に増加。

表1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）（件）

受付会社	前年度（2021年度）			当年度（2022年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	68	0	68	107	0	107	39
北海道NW	398	1,335	1,733	768	1,244	2,012	279
東北NW	597	1,313	1,910	864	1,646	2,510	600
東京PG	954	2,456	3,410	1,558	3,402	4,960	1,550
中部PG	337	1,708	2,045	401	2,732	3,133	1,088
北陸送配	87	252	339	155	302	457	118
関西送配	377	1,823	2,200	582	2,210	2,792	592
中国NW	301	1,199	1,500	439	1,134	1,573	73
四国送配	82	542	624	123	661	784	160
九州送配	451	1,518	1,969	659	1,592	2,251	282
沖縄電力	5	24	29	4	16	20	▲ 9
合計	3,657	12,170	15,827	5,660	14,939	20,599	4,772

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

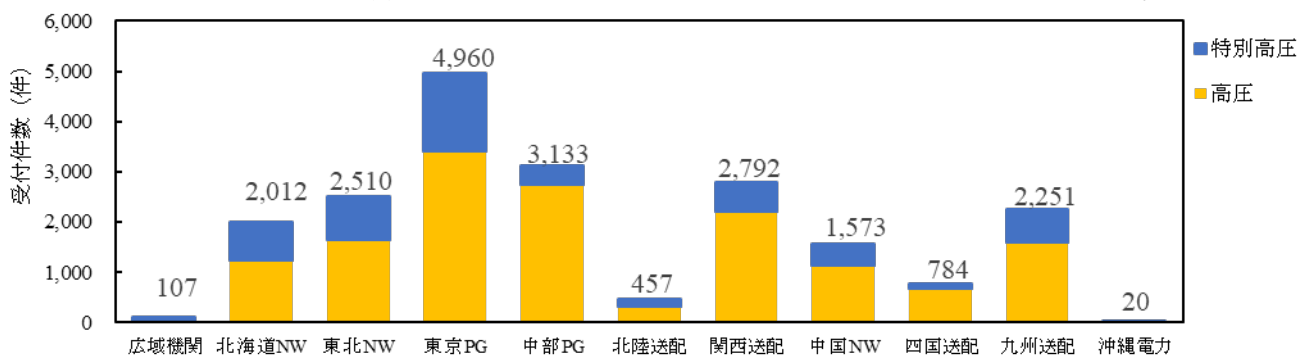


図1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）
[2022年度]

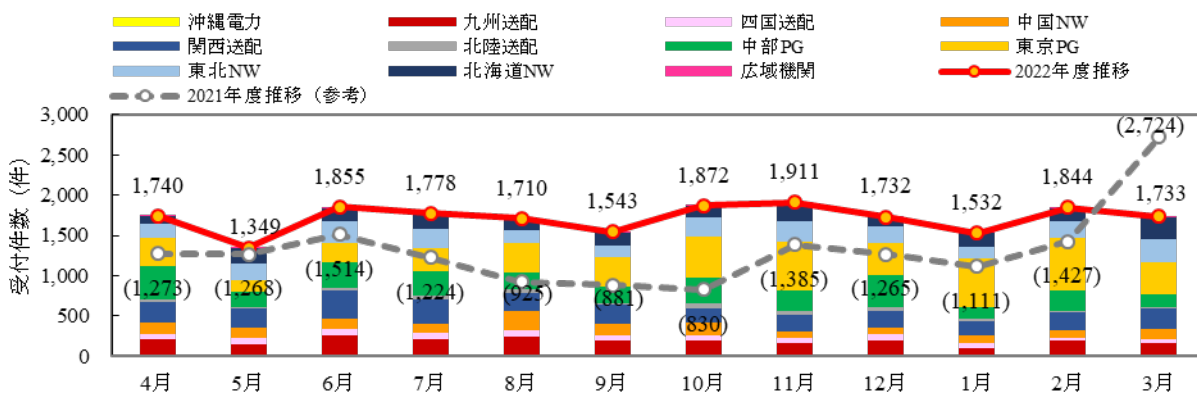


図2 事前相談 受付件数（広域機関+一般送配電事業者合計）
[2022年度]

2.2. 接続検討

2.2.1. 受付件数

2022年度（2022年4月～2023年3月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおり。接続検討の受付件数は、前年度と比較して大半のエリアで増加し、特に東京PGが大幅に増加。一方、東北NWは、電源接続案件一括検討プロセスへの接続検討申込の減少に起因して減少。

表2 接続検討の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年度(2021年度)			当年度(2022年度)			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	75	1	76	73	1	74	▲ 2
北海道NW	112	273	385	135	299	434	49
東北NW	309	370	679	217	287	504	▲ 175
東京PG	141	1,241	1,382	207	1,863	2,070	688
中部PG	79	312	391	107	552	659	268
北陸送配	24	30	54	36	41	77	23
関西送配	74	159	233	112	146	258	25
中国NW	84	122	206	86	176	262	56
四国送配	30	45	75	60	89	149	74
九州送配	87	98	185	123	184	307	122
沖縄電力	0	5	5	1	5	6	1
合計	1,015	2,656	3,671	1,157	3,643	4,800	1,129

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

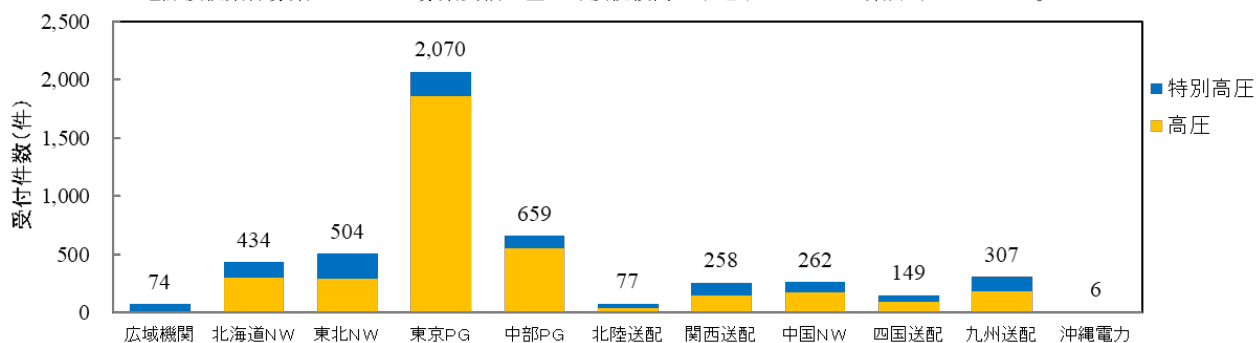


図3 接続検討 受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)
[2022年度]

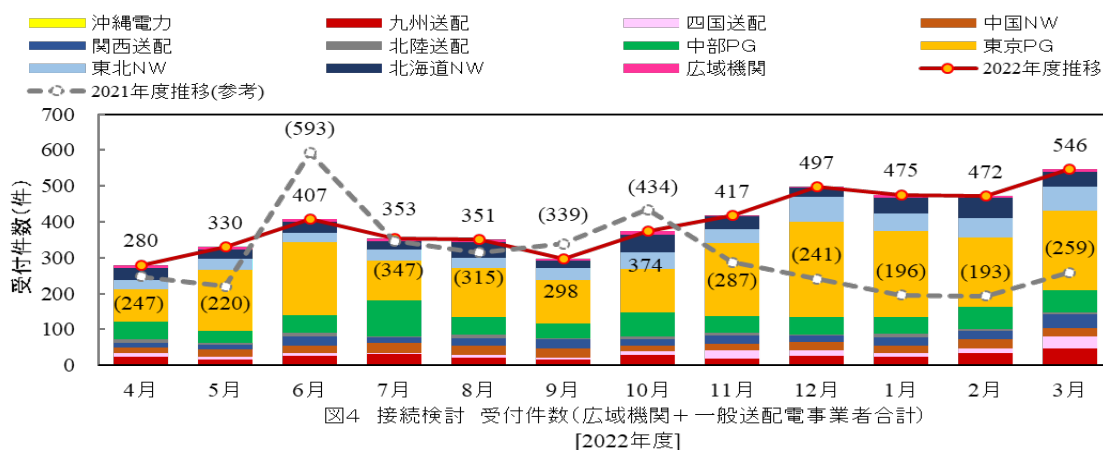


図4 接続検討 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計)
[2022年度]

2.2.2. 電源種別毎の受付件数

2022年度（2022年4月～2023年3月）に受付を行った接続検討の電源種別ごとの件数は以下のとおり。広域機関にて受け付けた案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。また、接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。加えて、2022年4月1日の接続検討申込書の様式変更に伴い、電源種別に揚水と蓄電池を追加（2021年度までは「その他に分類」）。

電源種別毎の受付件数は、東北エリアでは風力比率が高く、東京エリアでは太陽光比率が高い。また、前年度と比較すると太陽光の受付件数が大幅に増加。

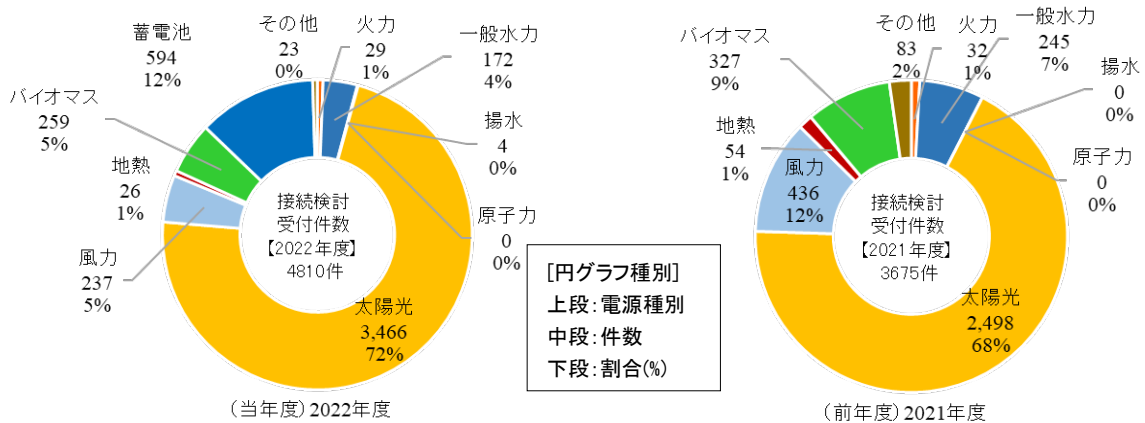
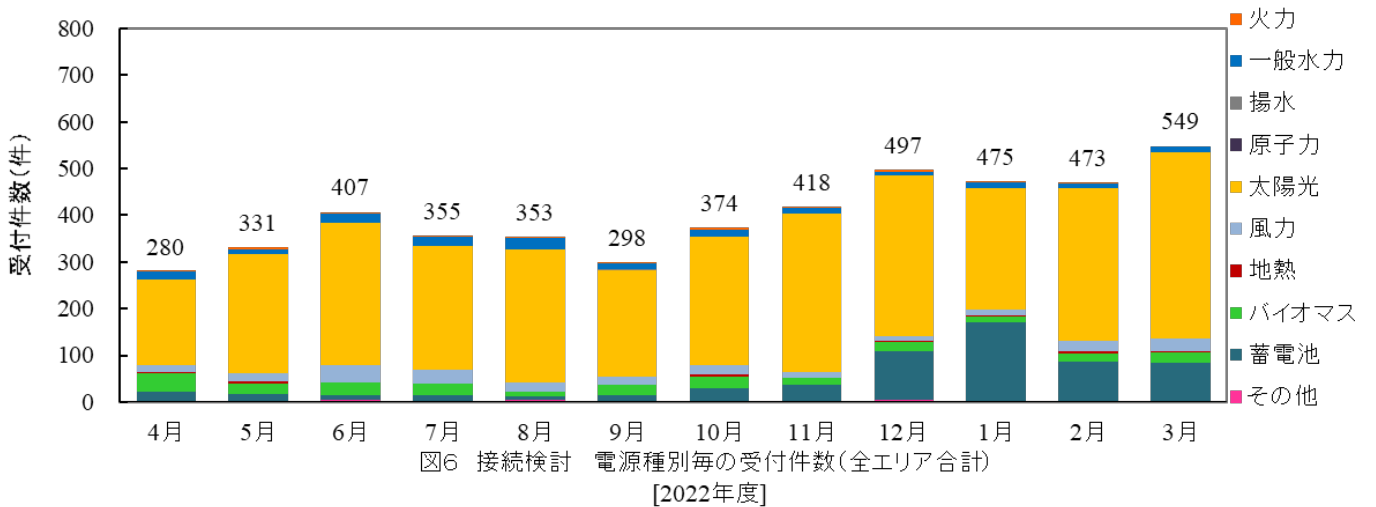
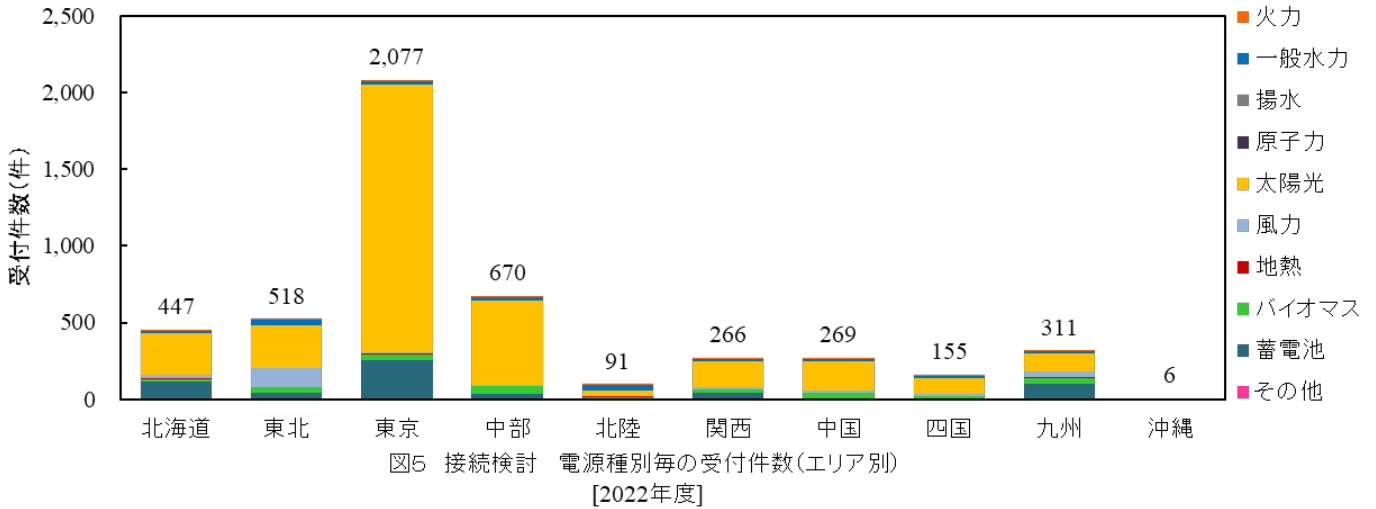


図7 接続検討の電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)

[2022年度]

2.2.3. 回答件数

2022年度（2022年4月～2023年3月）に回答を行った接続検討の回答件数は以下のとおり。接続検討の回答件数は、前年度と比較して増加。特に、東京PGおよび中部PGが増加。また、大半のエリアにおいて、ノンファーム型接続を適用した回答が進んでいる。

表3 接続検討の回答件数(広域機関および一般送配電事業者別)

受付会社	前年度（2021年度）						当年度（2022年度）						(件) 増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
広域機関※1	78	(25)	2	(-)	80	(25)	71	(24)	1	(-)	72	(24)	▲ 8
北海道NW	97	(61)	219	(167)	316	(228)	93	(58)	256	(198)	349	(256)	33
東北NW	353	(276)	345	(292)	698	(568)	237	(75)	257	(123)	494	(198)	▲ 204
東京PG	149	(108)	1,079	(764)	1,228	(872)	149	(99)	1,637	(1,425)	1,786	(1,524)	558
中部PG	74	(2)	333	(4)	407	(6)	86	(9)	441	(116)	527	(125)	120
北陸送配	21	(2)	26	(-)	47	(2)	35	(7)	43	(13)	78	(20)	31
関西送配	73	(3)	162	(2)	235	(5)	86	(2)	127	(-)	213	(2)	▲ 22
中国NW	76	(14)	119	(44)	195	(58)	80	(38)	151	(77)	231	(115)	36
四国送配	25	(6)	48	(6)	73	(12)	33	(3)	49	(13)	82	(16)	9
九州送配	84	(36)	108	(39)	192	(75)	95	(48)	188	(83)	283	(131)	91
沖縄電力	0	(-)	1	(-)	1	(-)	1	(-)	9	(-)	10	(-)	9
合計	1,030	(533)	2,442	(1,318)	3,472	(1,851)	966	(363)	3,159	(2,048)	4,125	(2,411)	653

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

※4 ()内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲。

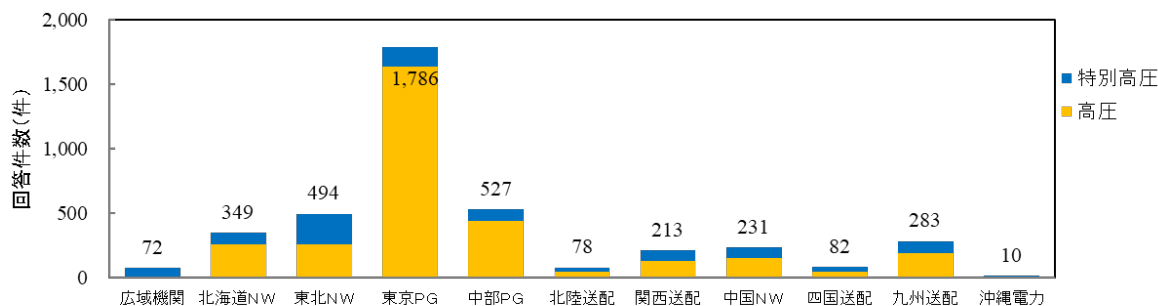


図8 接続検討 回答件数(広域機関および一般送配電事業者別)
[2022年度]

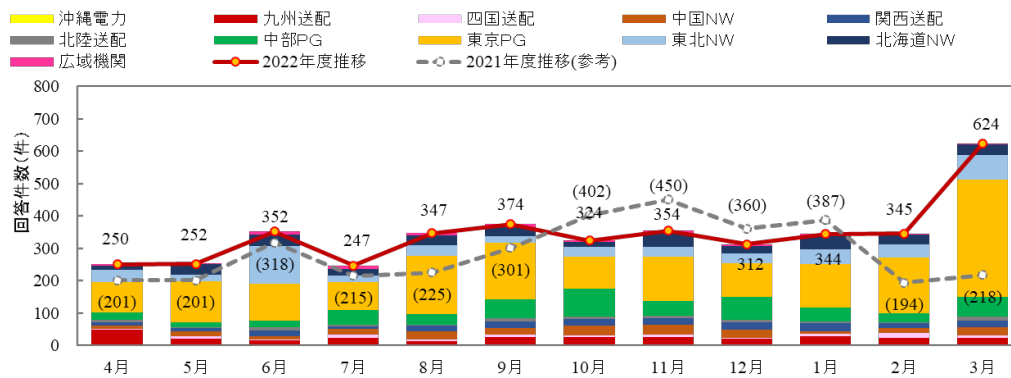


図9 接続検討 回答件数(広域機関+一般送配電事業者)
[2022年度]

2.2.4. 検討期間

2022年度（2022年4月～2023年3月）に回答を行った接続検討の検討期間は以下のとおり。なお、検討期間は、送配電等業務指針第86条の規定を踏まえ、3か月を標準期間として確認。

接続検討の検討期間（3か月）を超過している件数は、全体の11%。超過理由の主な内容は、受付者都合（申込集中・特殊検討・検討量大）が多い。

表4 接続検討の検討期間(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答 件数	3か月 以内	3か月 超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
広域機関※1	72	60	12	0	1	0	3	3	0	0	0	5
北海道NW	349	305	44	0	3	3	20	3	11	0	0	4
東北NW	494	488	6	4	1	0	0	1	0	0	0	0
東京PG	1,786	1,465	321	13	4	181	122	1	0	0	0	0
中部PG	527	513	14	0	1	0	2	0	11	0	0	0
北陸送配	78	76	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
関西送配	213	212	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中国NW	231	229	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	82	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	283	215	68	1	2	3	54	1	5	0	0	2
沖縄電力	10	7	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,125	3,652	473	21	16	187	201	9	27	0	0	12

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

(接続検討の回答期間)

第86条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、接続検討の回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が高圧の送電系統への発電設備等（但し、逆変換装置を使用し、容量が500キロワット未満のものに限る。）の連系等を希望する場合 接続検討の申込みの受付日から2か月
- 二 前号に該当しない場合 接続検討の申込みの受付日から3か月

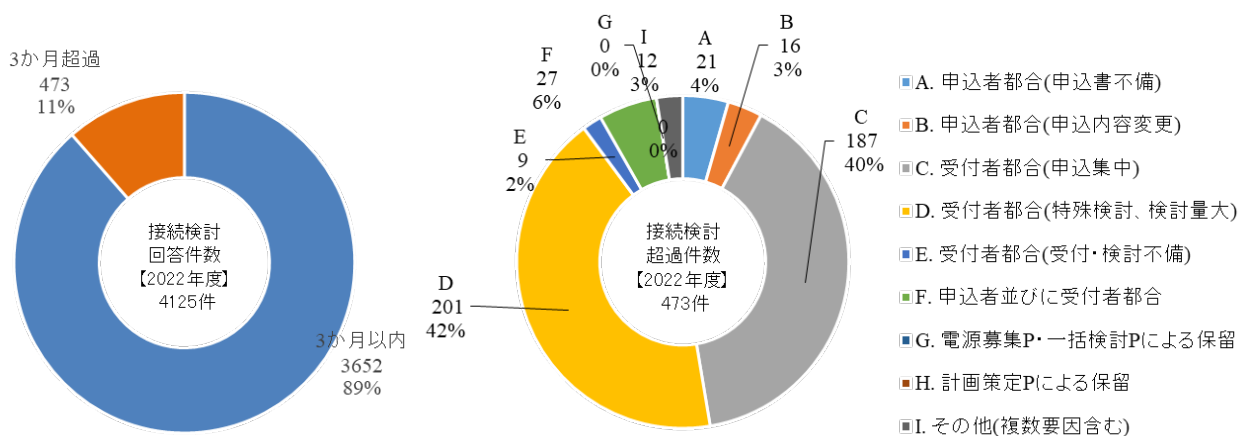


図10 接続検討の回答件数および検討期間実績
(広域機関と一般送配電事業者の合計)

図11 接続検討の回答予定日超過理由
(広域機関と一般送配電事業者の合計)
[2022年度]

[円グラフ種別]
上段: 超過理由
中段: 件数
下段: 割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A.申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B.申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C.受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D.受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討^{※1}が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E.受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F.申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G.電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス^{※2}および電源接続案件一括検討プロセス^{※2}の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H.計画策定Pによる保留

計画策定プロセス^{※3}の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I.その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.2.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2022年度末（2023年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。

表5 接続検討の回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

(広域機関および一般送配電事業者の合計)

(件)

受付会社	2021年度末	2022年度末	増減
広域機関	5	0	▲ 5
北海道NW	55	46	▲ 9
東北NW	21	3	▲ 18
東京PG	82	40	▲ 42
中部PG	0	4	4
北陸送配	6	6	0
関西送配	0	1	1
中国NW	3	1	▲ 2
四国送配	0	0	0
九州送配	9	6	▲ 3
沖縄電力	3	0	▲ 3
合計	184	107	▲ 77

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

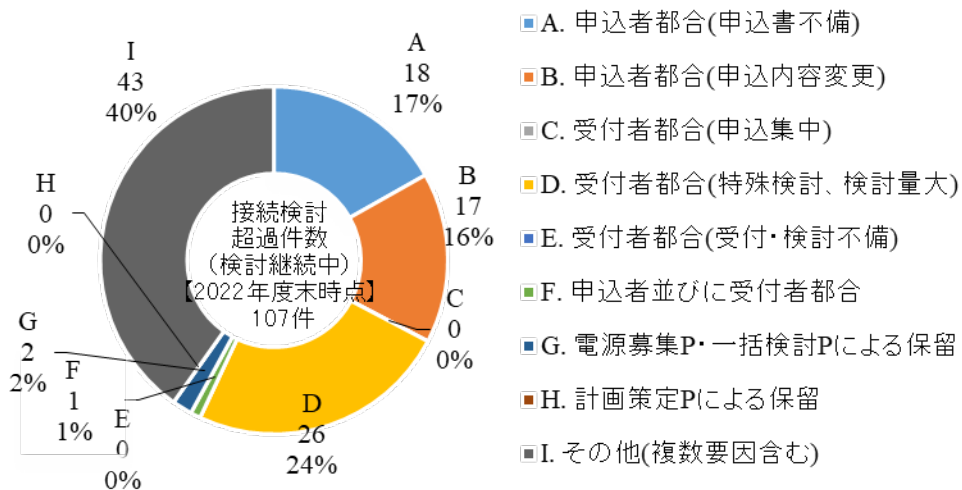


図12 接続検討 回答予定日超過理由(検討継続中)
(広域機関+一般送配電事業者合計)
[2022年度末時点]

[円グラフ種別]
上段: 超過理由
中段: 件数
下段: 割合(%)

2.3. 契約申込み

2.3.1. 受付件数

2022年度（2022年4月～2023年3月）に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおり。契約申込みの受付件数は、前年度と比較して増加したエリアが多い。特に、東北NWは、電源接続案件一括検討プロセスへの契約申込みの増加に起因して大幅に増加。

表6 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度（2021年度）			当年度（2022年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	24	61	85	20	72	92	7
東北NW	87	28	115	148	180	328	213
東京PG	22	391	413	23	491	514	101
中部PG	19	122	141	22	122	144	3
北陸送配	18	9	27	17	13	30	3
関西送配	43	69	112	31	72	103	▲ 9
中国NW	24	43	67	26	47	73	6
四国送配	16	26	42	18	28	46	4
九州送配	34	39	73	28	59	87	14
沖縄電力	2	0	2	3	3	6	4
合計	289	788	1,077	336	1,087	1,423	346

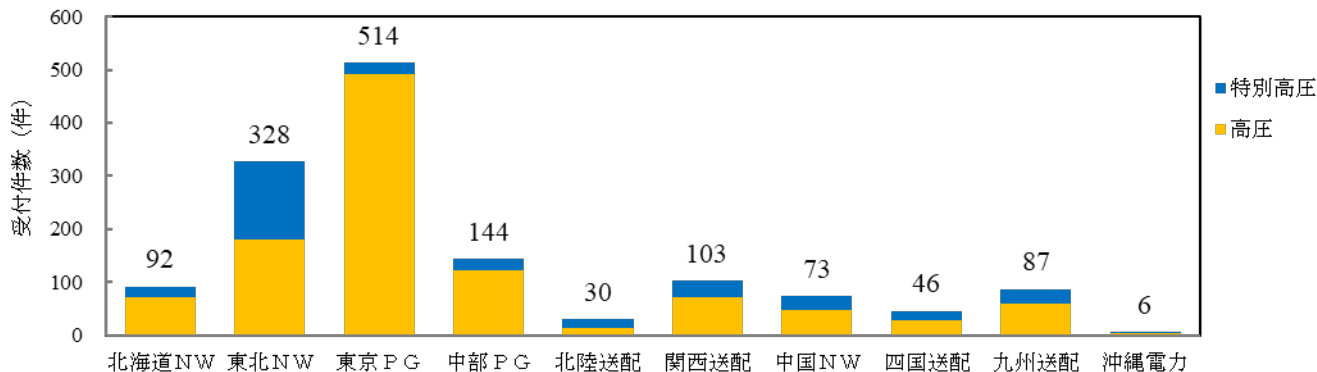


図1-3 契約申込み 受付件数 (一般送配電事業者別) [2022年度]

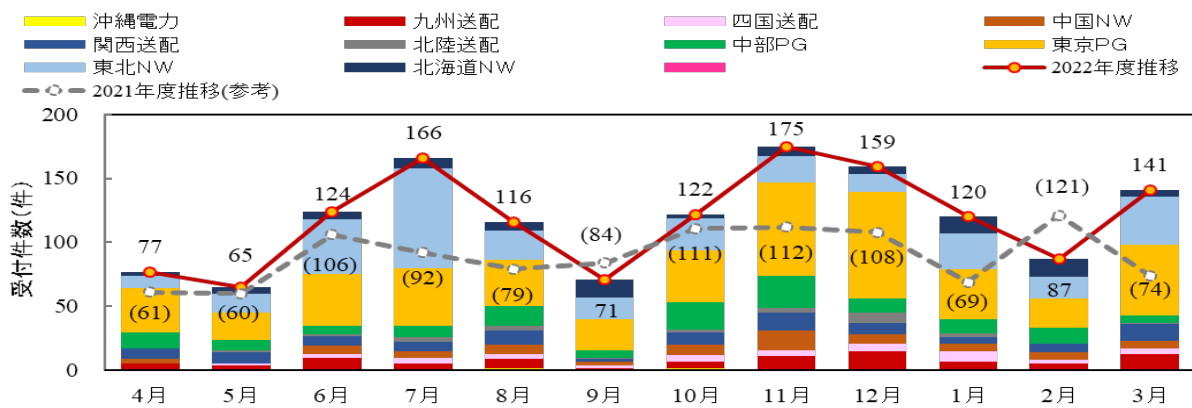
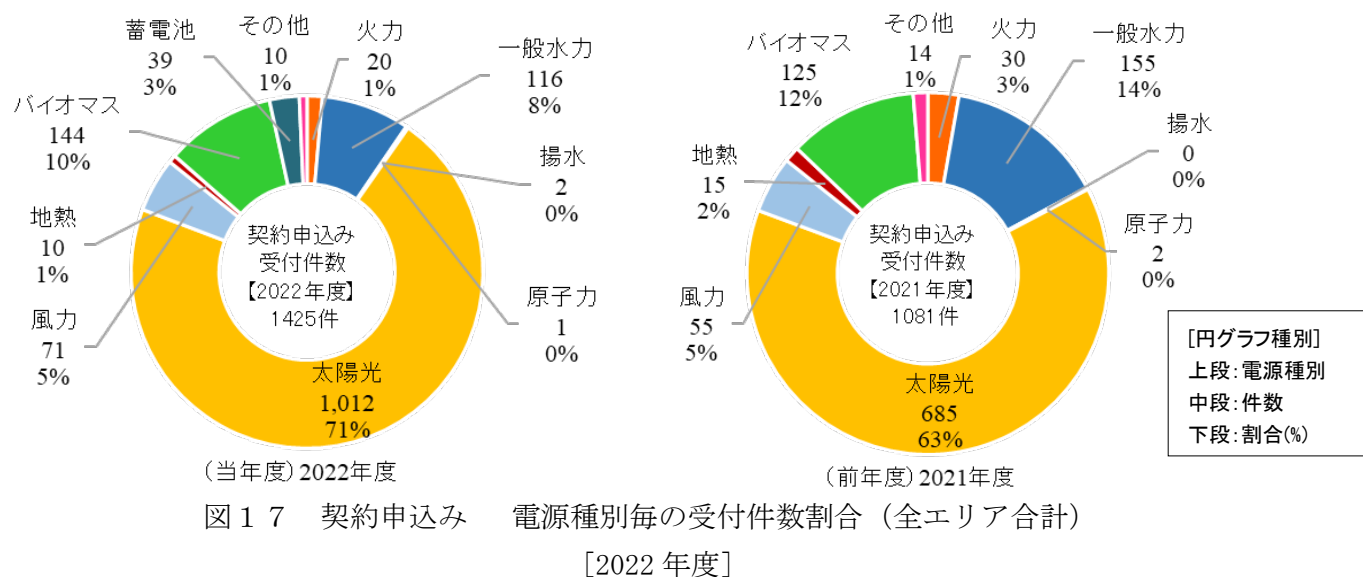
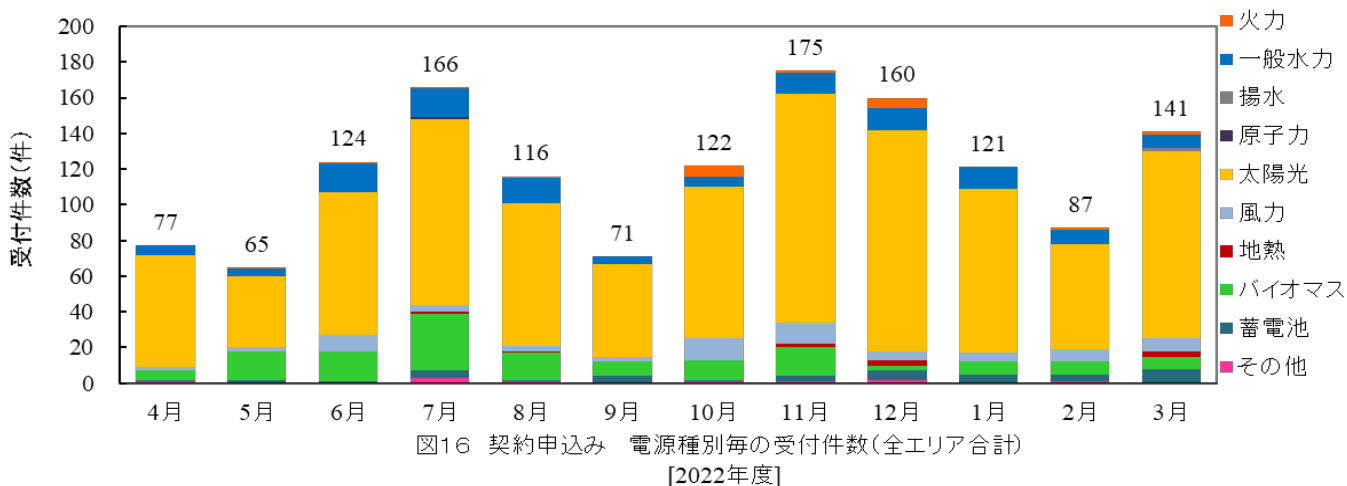
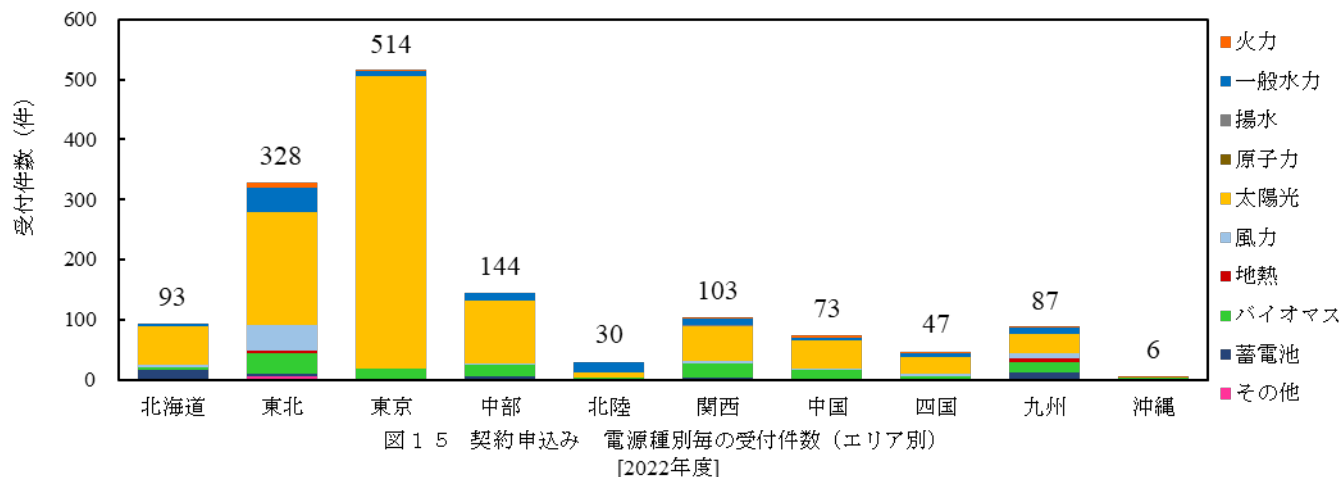


図1-4 契約申込み 受付件数 (一般送配電事業者合計) [2022年度]

2.3.2. 電源種別毎の受付件数

2022年度（2022年4月～2023年3月）に受付を行った契約申込みの電源種別の件数は以下のとおり。契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。加えて、2022年4月1日の接続検討申込書の様式変更に伴い、電源種別に揚水と蓄電池を追加（2021年度までは「その他に分類」）。電源種別毎の受付件数の比率は、前年度と同様に太陽光が高く半数を占めている。他方、風力の受付件数は、前年度と比較して減少。



2.3.3. 回答件数

2022年度（2022年4月～2023年3月）に回答を行った契約申込みの件数および検討期間は以下のとおり。契約申込みの回答件数は、前年度と比較して増加したエリアが多い。特に東京PGで大幅に増加。

またノンファーム型接続を適用した回答を行ったエリア及びその回答件数は、前年度より増加。

表7 契約申込みの回答件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度（2021年度）						当年度（2022年度）						増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
北海道NW	21	(7)	29	(10)	50	(17)	17	(4)	64	(49)	81	(53)	31
東北NW	112	(-)	22	(1)	134	(1)	96	(14)	74	(27)	170	(41)	36
東京PG	16	(5)	203	(130)	219	(135)	23	(11)	303	(216)	326	(227)	107
中部PG	14	(-)	92	(-)	106	(-)	19	(2)	98	(13)	117	(15)	11
北陸送配	11	(-)	11	(-)	22	(-)	18	(4)	9	(1)	27	(5)	5
関西送配	36	(-)	47	(1)	83	(1)	30	(-)	62	(-)	92	(-)	9
中国NW	18	(2)	37	(10)	55	(12)	19	(8)	40	(18)	59	(26)	4
四国送配	9	(-)	26	(-)	35	(-)	18	(3)	19	(2)	37	(5)	2
九州送配	27	(8)	43	(3)	70	(11)	16	(7)	36	(6)	52	(13)	▲18
沖縄電力	2	(-)	0	(-)	2	(-)	3	(-)	3	(-)	6	(-)	4
合計	266	(22)	510	(155)	776	(177)	259	(53)	708	(332)	967	(385)	191

※1 ()内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲

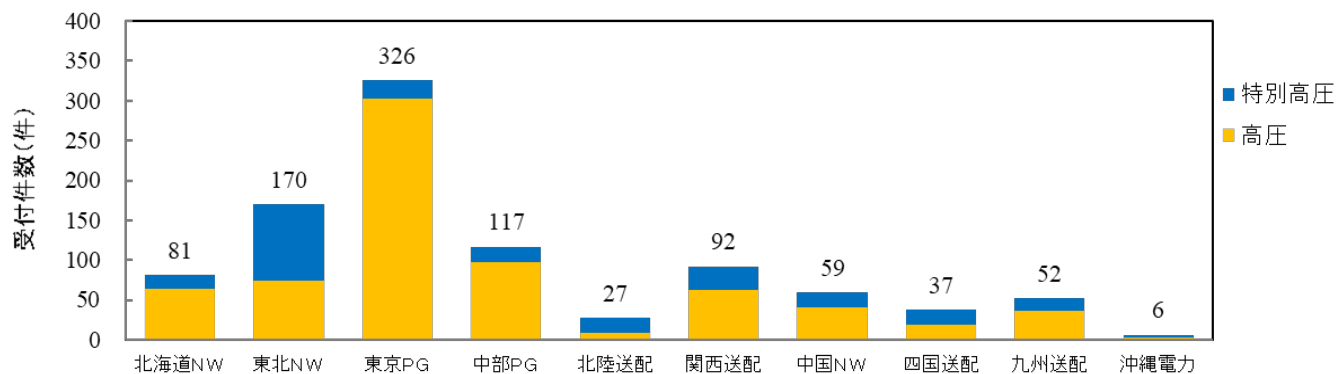


図18 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者別) [2022年度]

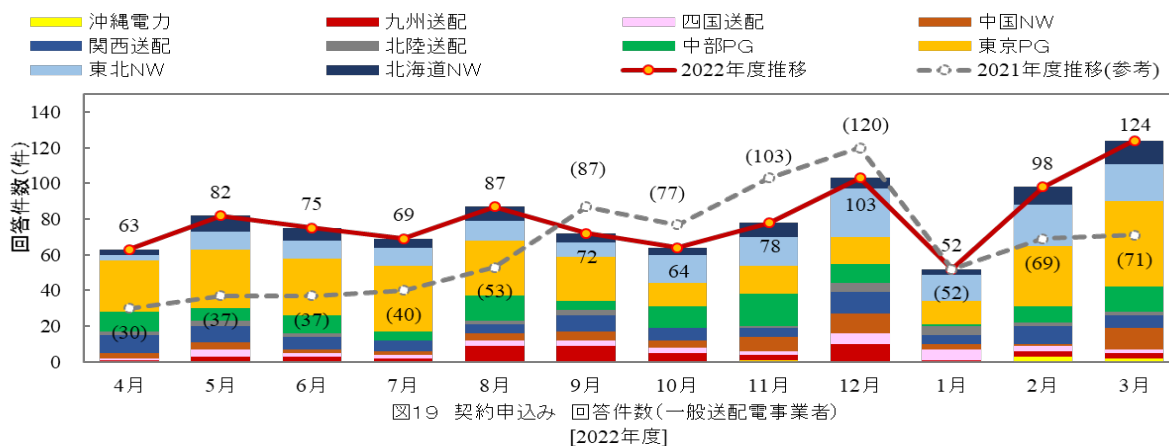


図19 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者) [2022年度]

2.3.4. 検討期間

2022年度（2022年4月～2023年3月）に回答を行った契約申込みの検討期間は以下のとおり。なお、検討期間については、送配電等業務指針第98条の規定に基づき、6か月を標準検討期間として確認した。

契約申込みの検討期間（6か月）を超過している件数は、全体の12%。超過理由の主な内容は、申込者都合（申込書不備、申込内容の変更）が多い。

表8 契約申込みの検討期間(一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答件数	6か月以内	6か月超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
北海道NW	81	67	14	1	3	1	4	1	2	0	0	2
東北NW	170	166	4	0	1	1	2	0	0	0	0	0
東京PG	326	251	75	36	18	1	14	0	6	0	0	0
中部PG	117	116	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
北陸送配	27	22	5	0	2	0	0	0	0	0	0	3
関西送配	92	88	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
中国NW	59	58	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	52	41	11	4	1	0	5	0	0	0	0	1
沖縄電力	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	967	852	115	46	26	3	25	1	8	0	0	6

(発電設備等契約申込みの回答期間)

第98条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、発電設備等契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 発電設備等系統連系希望者が低圧の送電系統への連系等を希望する場合 発電設備等契約申込みの受付日から1か月
- 二 前号に該当しない場合 発電設備等契約申込みの受付日から6か月又は発電設備等系統連系希望者と合意した期間

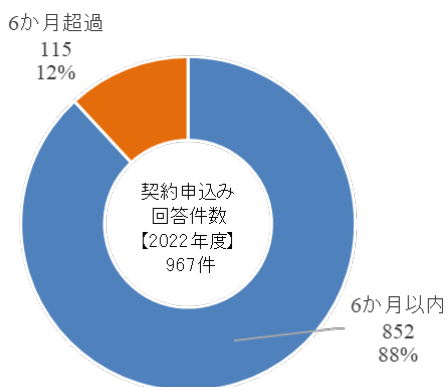


図20 契約申込みの回答件数および検討期間実績 (一般送配電事業者合計)

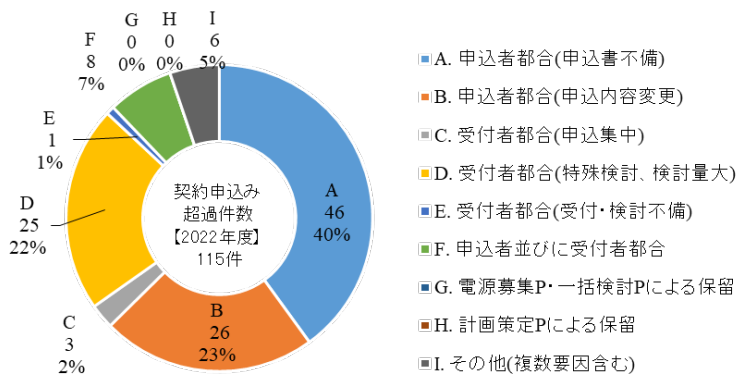


図21 契約申込みの回答予定日超過理由 (一般送配電事業者合計) [2022年度]

[円グラフ種別]
 上段: 超過理由
 中段: 件数
 下段: 割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討^{※1}が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス^{※2}および電源接続案件一括検討プロセス^{※2}の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス^{※3}の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・ 合理的な設備形成の検討に時間を要しているため
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・ 上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・ 近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・ 当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・ 検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.3.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2022年度末（2023年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。なお、申込者による契約申込みの継続意思がない案件については、集計の対象から除外した。

表9 契約申込みの回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

受付会社	2021年度末	2022年度末	増減
北海道NW	10	9	▲ 1
東北NW	7	0	▲ 7
東京PG	54	89	35
中部PG	3	0	▲ 3
北陸送配	6	2	▲ 4
関西送配	10	7	▲ 3
中国NW	1	1	0
四国送配	0	0	0
九州送配	43	32	▲ 11
沖縄電力	0	0	0
合計	134	140	6

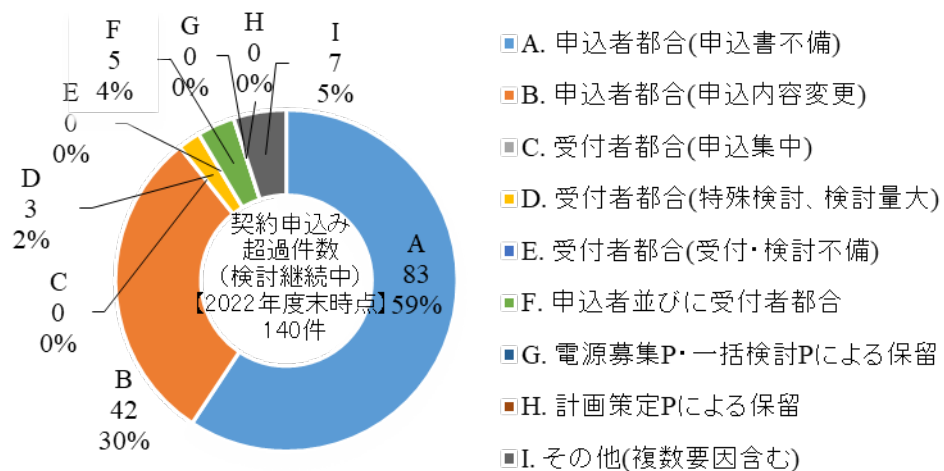


図22 契約申込み 回答予定日超過理由(検討継続中)
(一般送配電事業者合計)
[2022年度末時点]

[円グラフ種別]
上段:超過理由
中段:件数
下段:割合(%)

<参考1> 年度推移

広域機関発足（2015年4月）以降における広域機関並びに一般送配電事業者において実施した系統アクセス業務に関する実績（「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付状況）の推移は以下のとおり。

事前相談は2017年度をピークに減少していたが、2021年度から増加傾向に変化し、2022年度においては、2017年度のピークに迫る件数まで増加。また、接続検討および契約申込みは2020年度から増加傾向に変化し、接続検討においては、2016年度以降では過去最高の件数となっている。

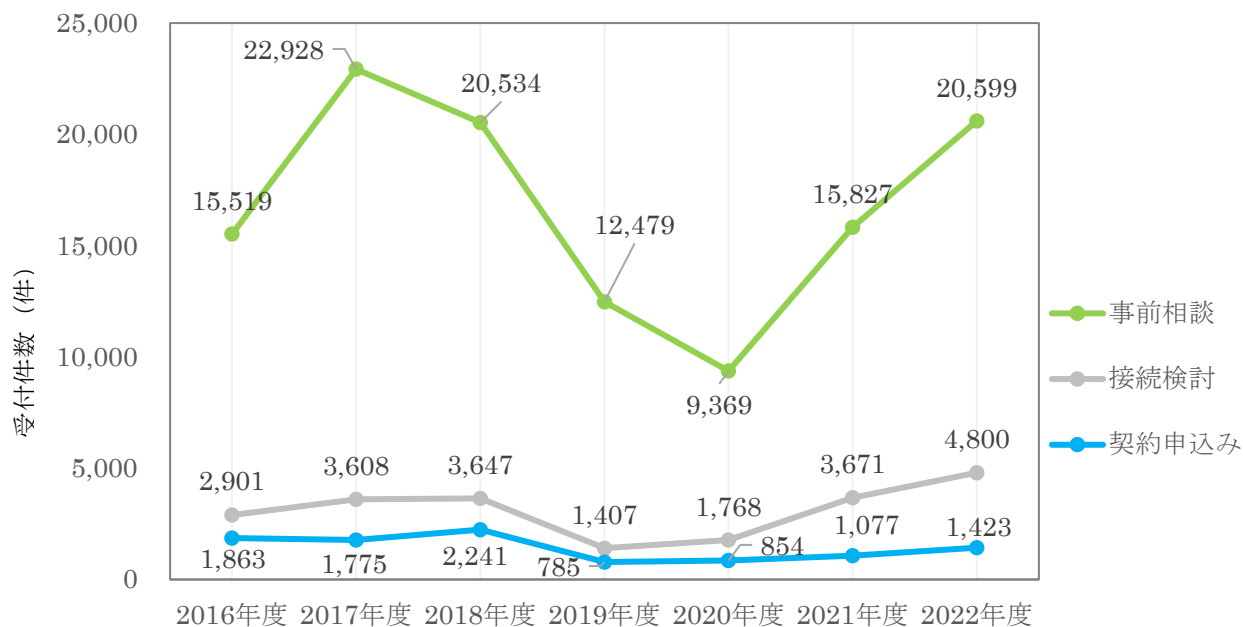


図2-3 年度別 事前相談・接続検討・契約申込みの受付件数の推移

(1) 事前相談

表10 事前相談の各社別受付件数の推移

(件)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
広域機関	333	111	76	41	27	68	107
北海道NW	637	1,592	646	237	567	1,733	2,012
東北NW	1,705	2,529	2,853	1,502	1,181	1,910	2,510
東京PG	3,882	5,396	2,659	1,187	1,064	3,410	4,960
中部PG	3,472	4,136	4,110	1,840	1,819	2,045	3,133
北陸送配	425	478	622	262	214	339	457
関西送配	2,076	3,528	4,318	2,128	1,442	2,200	2,792
中国NW	1,256	2,744	2,405	1,520	895	1,500	1,573
四国送配	390	546	804	257	326	624	784
九州送配	1,256	1,796	2,003	3,484	1,790	1,969	2,251
沖縄電力	87	72	38	21	44	29	20
合計	15,519	22,928	20,534	12,479	9,369	15,827	20,599

(2) 接続検討

表 11 接続検討の各社別受付件数の推移 (件)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
広域機関	83	53	58	83	76	76	74
北海道NW	106	323	229	65	89	385	434
東北NW	415	443	615	363	424	679	504
東京PG	811	1,085	853	287	443	1,382	2,070
中部PG	453	485	585	163	230	391	659
北陸送配	102	118	115	79	55	54	77
関西送配	312	354	328	91	137	233	258
中国NW	243	315	431	91	106	206	262
四国送配	134	139	110	42	29	75	149
九州送配	238	291	315	138	173	185	307
沖縄電力	4	2	8	5	6	5	6
合計	2,901	3,608	3,647	1,407	1,768	3,671	4,800

表 12 接続検討の電源種別毎の受付件数の推移 (件)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
火力	66	41	25	59	60	32	29
一般水力	106	132	145	182	241	245	172
揚水	0	0	0	0	0	0	4
原子力	0	0	0	0	0	0	0
太陽光	2,005	2,602	2,806	481	766	2,498	3,466
風力	368	340	303	410	326	436	237
地熱	17	17	14	38	55	54	26
バイオマス	335	469	341	221	305	327	259
蓄電池	-	-	-	-	-	-	594
その他	7	11	13	21	18	83	23
合計	2,904	3,612	3,647	1,412	1,771	3,675	4,810

※接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

(3) 契約申込み

表 13 契約申込みの各社別受付件数の推移

(件)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
北海道NW	37	187	46	25	25	85	92
東北NW	215	211	329	232	332	115	328
東京PG	538	277	618	174	174	413	514
中部PG	357	267	400	94	96	141	144
北陸送配	83	86	50	26	33	27	30
関西送配	233	256	251	57	70	112	103
中国NW	147	196	242	45	37	67	73
四国送配	71	79	69	20	15	42	46
九州送配	177	210	232	110	69	73	87
沖縄電力	5	6	4	2	3	2	6
合計	1,863	1,775	2,241	785	854	1,077	1,423

表 14 契約申込みの電源種別毎受付件数の推移

(件)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
火力	30	26	16	19	16	30	20
一般水力	70	76	96	124	135	155	116
揚水	0	2	0	0	0	0	2
原子力	0	0	1	1	0	2	1
太陽光	1,462	1,252	1,900	375	440	685	1012
風力	168	229	78	113	148	55	71
地熱	8	5	3	11	15	15	10
バイオマス	123	187	143	138	95	125	144
蓄電池	-	-	-	-	-	-	39
その他	2	3	5	7	6	14	10
合計	1,863	1,780	2,242	788	855	1,081	1,425

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

<参考2> 電源接続案件一括検討プロセス実施状況

2022年度末（2023年3月末）時点における電源接続案件一括検討プロセス（主宰者：一般送配電事業者）の実施状況※は以下のとおり。総数24件のうち、2023年3月末時点で、15件が未完了。

※2023年3月末時点の実施状況を記載しているため、本資料公表日の実施状況とは異なる場合がある。

表15 電源接続案件一括検討プロセスの実施状況一覧

会社	件数	対象エリア	開始決定日	応募申込 受付開始日	プロセス 完了(予定)日
北海道	1件	弟子屈	2022/4/28	2022/7/26	2023/12頃
東北	8件	福島	2021/3/24	2021/4/26	2023/5 月上旬頃
		山形・本荘由利	2021/3/26	2021/4/28	2023/5 月上旬頃
		青森県下北	2021/5/19	2021/6/16	2023/4 中旬頃
		岩手県北部	2021/8/12	2021/10/7	2023/7 中旬頃
		宮城県北西	2021/8/13	2021/10/8	2023/6 初旬頃
		新潟県村上	2021/12/14	2022/1/18	2023/10 下旬頃
		宮城県北東および東部大崎	2021/12/15	2022/1/21	2023/11 中旬頃
		青森県三戸	2021/12/16	2022/1/26	2023/8 月上旬頃
東京	2件	群馬東部	2021/7/13	2021/8/13	2023/7 下旬頃
		栃木県西部	2022/11/30	2022/12/28	2024/7 月上旬頃
中部	3件	長野県北部小谷村	2021/9/3	2021/10/1	2023/3/30 完了
		愛知県三河北部・長野県南信南部 A, B * 1	2022/7/8	2022/8/8	2023/3/1 完了
		三重県中勢・伊賀	2022/8/30	2022/9/30	2024/4 下旬頃
北陸	3件	石川県白山市南部	2020/10/30	2020/11/30	2021/12/1 完了
		石川県能登	2020/11/25	2020/12/25	2022/7/4 完了
		石川県志賀町周辺	2022/9/2	2022/10/3	2024/3 月上旬頃

中国	1件	広島県神石高原町, 岡山県高梁市・吉備中央町および周辺	2021/2/5	2021/2/16	2021/10/21 完了
九州	6件	大分県西大分	2021/11/11	2021/1/29	2022/1/21 完了
		鹿児島県霧島	2021/1/29	2021/2/26	2021/12/22 完了
		鹿児島県大口	2021/4/5	2021/5/10	2022/1/26 完了
		大分県日田①, ② * 1	2021/7/29	2021/8/26	2023/8 上旬頃
		熊本県菊池	2021/8/4	2021/9/1	2022/3/24 完了
		大分県山香・柳ヶ浦	2022/4/28	2022/5/27	2023/12 中旬頃

* 1 ※エリア分割によるもののため、1件と数える